

1年 前期 道德通信

1学年道德担当

この通信では、田代中学校1年生の道德の取り組みを紹介していきます。

道德の授業は担任だけでなく、1年職員全員で毎週授業を行っています。生徒が印象に残った授業の中から「ばあば」「トマトとメロン」「近くにいた友」の感想を紹介します。道德通信を通して、ご家庭でも道德について話題にしていただけると幸いです。

【教材名】：ばあば（ともに生きる）

【ねらい】生命は連綿とつながっており、関わり合い支え合ってきたことを深く自覚するとともに、与えられた生命をせいっぱい生きようとする態度を養う。

【あらすじ】曾祖母「ばあば」を家に迎えた「僕」たちは家族。ともに生き、天寿を全うした「ばあば」から、いろいろなことをもらっていたと気付く。

その人が生きていただけでたくさんの幸せを
もらっていることがわかった。自分の家族
をもっと大切にしようと思った。



とを思い出そう(曾祖母の)ばあばと似ている

私の大好きだったおばあちゃん、お父さんと似ている?ところかあ。7、少
し悲い気持ちと、今までの思い出を思い出させて、ジーンときた。
入はいつか死ぬんだな、と思った。今あるこの時間を大切にしようと思う



○ お礼を言うことや感謝の気持ちを伝えること
は幾つになっても大切だと学んだ。機会をも
と増やしていきたい。



【教材名】：トマトとメロン（個性を大切に）

【ねらい】自己を見つめてそのよさに気づき、個性を生かして前向きに生きていこうとする態度を育てることをねらいとしています。

【あらすじ】 トマトとメロンという比喻を使いながら、人間はそれぞれに素晴らしい個性をもっており、それを伸ばしていくことが大切だと訴える、相田みつをさんの詩。

トマトとメロンでそれぞれのいい所が
あって、他人にはなれないけど、自分の
ままでいいところがとてもいいなと思い



自分は自分らしくいれるはいいこと。人の意見に流されず、自分の考えを
大切にすること。無理に人に合わせることはないということ。



て...?)ました。

【近くにいた友】(本当の友情とは)

【ねらい】お互いに友情の大切さを理解し、いっそう友達を大切にしようとする態度を育てる。

【あらすじ】野球部のオサムは、自分がミスした写真を幼馴染がSNSにアップしたと誤解する。友情と情報モラルについて考えていく教材。

今までは、友達だね、と言えば友達にな、たよな気がしてたが、一足付合っ
ていくと、心から「本音の友達」と思える存在は、どうやって見つけるか
という答えは、なくお金のたろつかを考えたことがあった。



相手に対して感謝を忘れない心、相手の事を思っ、て行動する
勇氣の大切さを失ひ、その2つを糸色対に死ぬまで忘れないと
心で感じとりました。



他にも、1年生前期は以下のような道徳を各クラスで行いました。後期の道徳授業でも、クラスで話し合いをもちながら、さらに道徳的価値を深めていきたいと思ひます。

	教材名	主題名
1	はしの上のオオカミ	思いやりのはじまりって?
2	サッカーの漫画を描きたい	夢に向かって生きる
3	挫折から希望へ	自分を超える
4	トマトとメロン	個性を大切に
5	人のフリみて	「ありがとう」がもつ力
6	「愛情貯金」をはじめませんか	礼儀とは
7	公平と不公平	公平とは何か
8	近くにいた友	本当の友達とは
9	ばあば	ともに生きる
10	使っても大丈夫?	きまりが守るもの
11	バスと赤ちゃん	優しさが優しさを呼ぶ